



2025 年 3 月 7 日

冬木工業株式会社
東日本電信電話株式会社 群馬支店
株式会社 NTT DX パートナー

冬木工業株式会社と NTT 東日本グループが締結した
サステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) 推進に関する協定
に基づく 2 年間の取り組み事例
～サプライチェーン、業界、社会全体に脱炭素の潮流を広げていくために～

冬木工業株式会社（代表取締役社長：大竹 良明、以下「冬木工業」）と東日本電信電話株式会社群馬支店（支店長：井原 智直、以下「NTT 東日本」）、および株式会社 NTT DX パートナー（代表取締役社長：阿部 隆、以下「NTT DX パートナー」）は、サステナビリティ・トランスフォーメーション※1（以下「SX」）推進のための連携および協力に向けた協定を 2023 年 2 月 22 日に締結し、群馬をリードする環境先進企業をめざしたさまざまな取り組みを進めています。

※1 SX とは、変化が激しく複雑化している社会で、不確実性を増し、未来の予測が難しい時代においても、企業の価値の維持・向上と ESG（環境・社会・ガバナンス）を両立させていくための変化・変革のこと。

このたび、本協定の目的である「冬木工業のみならず地域全体での強力な SX 推進の実現」に向け、協定締結以降の 2 年間で実施してきた「群馬における SX 推進事例」を紹介いたします。

（参考）各社の役割

冬木工業	SX 推進に向けた取り組みを全社で実践し群馬をリードする環境先進企業をめざすとともに、取引先企業や地域へ取り組みの展開や情報発信を実施。
NTT 東日本	グループ全体のアセットから冬木工業のニーズに合ったソリューションの選定および提供。
NTT DX パートナー	SX 分野におけるコンサルティング（マテリアリティ特定支援、CO2 排出量可視化算定支援 等）やソリューション（C-Turtle®※2）を提供。

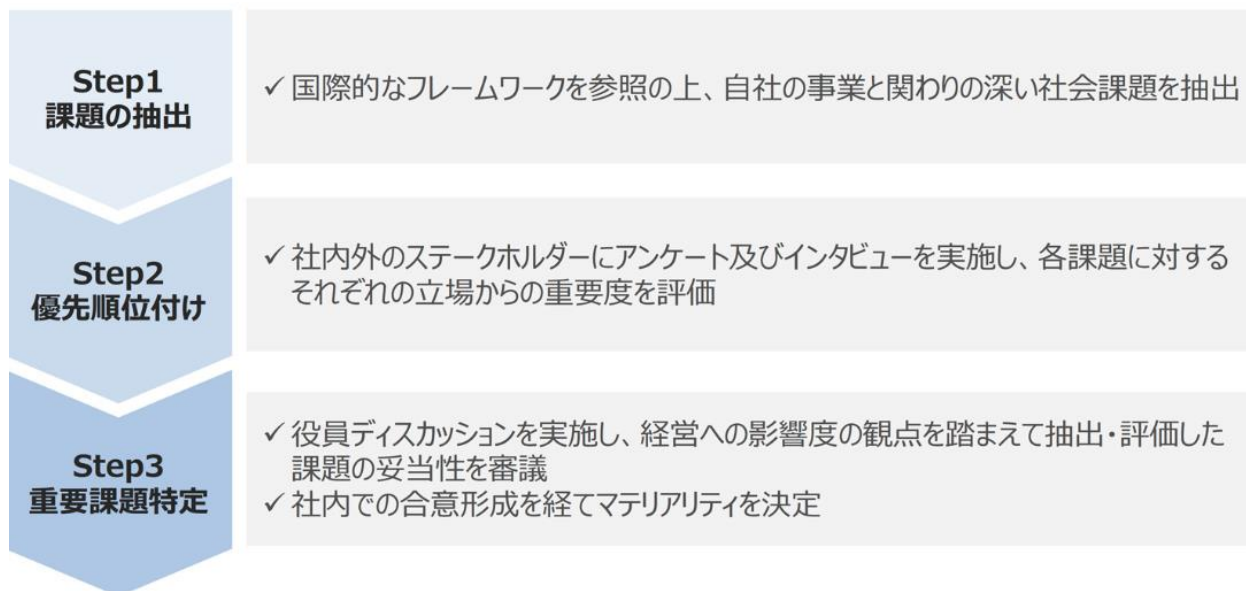
※2 C-Turtle®は、削減できる Scope3 算定を実現する、株式会社 NTT データの GHG 排出量可視化プラットフォームです。（<https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/>）

事例 1. SX 推進に向けた方針策定・体制構築

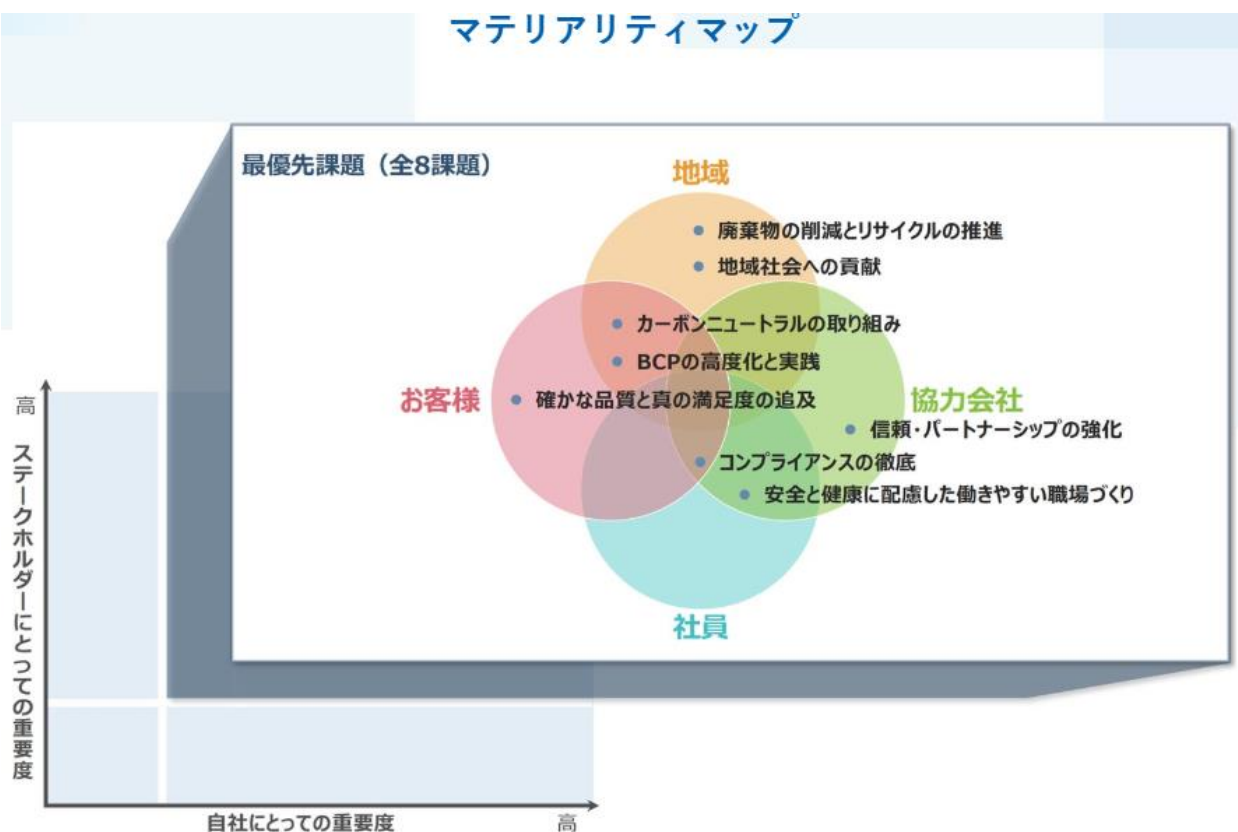
(1) 冬木工業のマテリアリティ(優先して取り組むべき重要課題)の特定と取り組み方針の策定。

参考 URL <https://www.fuyuki.co.jp/sustainability/>

重要課題の特定プロセス



マテリアリティマップ

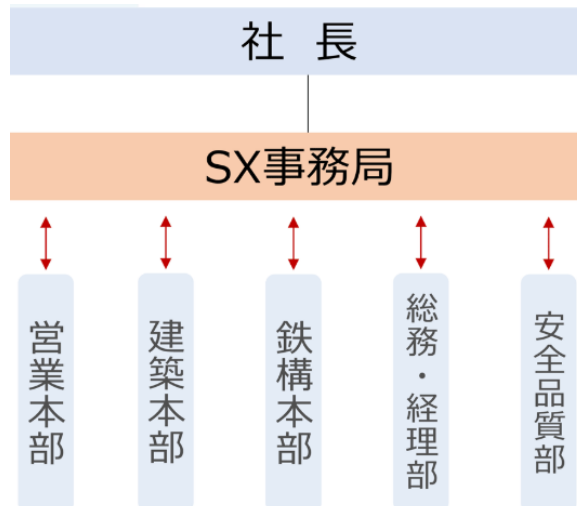


マテリアリティー一覧

8つの課題への取り組みを中心に、「四方よし」(=お客様、協力業者、社員、地域の四者の「よし」)の実現を目指します

最優先課題	取り組み方針	四方よし	関連するSDGs
カーボンニュートラルの取り組み	- 脱炭素社会への移行に貢献するため、建築現場や自社工場におけるCO2排出量の可視化・削減に取り組みます - 省エネルギー設計や建物の長寿命化、自然素材の活用等、環境に配慮した建築を推進します	お客様 協力会社 社員 地域	 
廃棄物の削減とリサイクルの推進	廃棄物削減に向けた設計やリサイクル材の積極活用、産業廃棄物の分別の徹底等を通じ、循環型社会の構築に貢献します	お客様 協力会社 社員 地域	 
確かな品質と真の満足度の追及	- 建築工事及び鉄骨製品の提供に関して、群馬県内トップクラスの品質と満足度を目指します - お客様からニーズが高まりつつあるサステナブル建築への対応を強化します	お客様 協力会社 社員 地域	
信頼・パートナーシップの強化	事業活動で関わる様々な関係者との信頼関係をより強固なものとし、相互に協力しながら地域の持続可能な発展に貢献します	お客様 協力会社 社員 地域	
安全と健康に配慮した働きやすい職場づくり	- 安全と健康を最優先し、事業活動で関わる全ての人が働きやすい職場環境の構築を目指します - 従業員がいきいきと幸せに働き続けられる企業を目指し、社会の変化や多様な価値観に応じた柔軟な働き方の実現を目指します	お客様 協力会社 社員 地域	  
地域社会への貢献	- 地域の様々なステークホルダーの皆様と共に、事業活動を通じて、豊かで住み心地の良い地域社会の実現に貢献します - 地域イベントへの協賛や、交通安全活動等をはじめ、地域に寄り添った活動を今後も継続して取り組みます	お客様 協力会社 社員 地域	 
BCPの高度化と実践	- 耐久性の優れた建物の建築を通じて、地震や豪雨などの自然災害に強い街づくりへの貢献を目指します - 社会や環境の変化に応じたBCPの更新や訓練の実施により、防災力の強化に努めてまいります	お客様 協力会社 社員 地域	 
コンプライアンスの徹底	「誠実・信用・感謝」を行動基準として、各種法令を遵守した契約・施工及び従業員のコンプライアンス教育を実施し、企業の社会的責任を果たしてまいります	お客様 協力会社 社員 地域	

(2) 冬木工業全社を巻き込んだサステナビリティ推進チームの結成



事例 2. カーボンニュートラルに向けた取り組み

(1) 二酸化炭素 (CO2) 排出量の削減施策

- 冬木工業玉村工場への太陽光パネルの設置 (2023 年 12 月)。



(2) 二酸化炭素 (CO2) 排出量の可視化施策

- 「C-Turtle®」の利用開始によるサプライチェーンや業界、社会全体の脱炭素化への貢献。

C-Turtle®導入で可能となること	
“総排出量配分方式”による Scope3 排出量削減の実践	「企業の排出量」を「取引」と紐付ける算定方式。排出量を削減すると、削減努力が下流企業へ取り込まれる
“一次データ”利用による Scope3 排出量削減の促進	CDP※3データや各社のサステナビリティレポートから取得している一次データの活用
サプライチェーン全体での可視化	上流サプライヤーの中小企業に対し C-Turtle®を無償提供※4する枠組みを提供

※3 CDP (<https://cdp.net/ja>) は、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体です。多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するために CDP のシステムを活用しています。

※4 C-Turtle®を無償提供 (別途導入費用が発生いたします) するには、算定対象年度の売上が 50 億円未満であること等の諸条件があります。

冬木工業玉村工場への太陽光パネルの設置などの二酸化炭素 (CO2) 排出量の削減施策に加え、CO2 排出量の可視化施策として 2024 年 12 月、新たに「C-Turtle®」を利用開始しました。これにより、温室効果ガスの排出量を算定し報告する際の国際的な規準である GHG プロトコルのスコープ 1、2、3 (カテゴリ 1、2、3、4、5、6、7) の算定を実施しました。算定した結果は以下の通りです。

区分（カテゴリー）		単位	2023 年 4 月～ 2024 年 3 月
Scope1			1,340
Scope2			506
Scope3	1. 購入した製品・サービス	t-CO ₂	31,184
	2. 資本財		73
	3. その他エネルギー活動		92
	4. 輸送、配送（上流）		1,273
	5. 事業から出る廃棄物		741
	6. 出張		104
	7. 雇用者の通勤		123

3. 今後に向けて

冬木工業は、「冬木工業のみならず地域全体での強力な SX 推進の実現」に向け、サプライチェーン、業界、社会全体に脱炭素の潮流を広げるべく、本協定を通じた各種取り組みを広く情報発信し、カーボンニュートラルをはじめとしたサステナブルな地域づくりをリードしていきます。

NTT 東日本および NTT DX パートナーは、今後も冬木工業の「SOCIAL INNOVATION パートナー」であり続けるとともに、群馬の SX 推進に資する NTT 東日本グループのアセット活用により、コンサルティングから実行支援まで一貫通貫した伴走型の支援を継続し、冬木工業ならびに群馬県企業の SX 推進を前進させる支援を継続していきます。

4. 本連携モデル全般に関するお問い合わせ先

冬木工業株式会社 SX 事務局 TEL：027-323-5008

SX 推進に関する取り組み（HP）：<https://www.fuyuki.co.jp/sustainability/>

NTT 東日本 群馬支店 企画総務部 総務・広報担当 TEL：027-326-0131

MAIL：koho-gunma-gm@east.ntt.co.jp

株式会社 NTT DX パートナー MAIL：info@nttdxpn.co.jp

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。